

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 ニックス	代表者	西川 直希	法人・ 事業所 の特徴	利用者及び御家族のニーズに柔軟・適切に対応している。 通いサービス・宿泊サービスにおいてただ過ごすのでは無く、体操やリハビリ（理学療養士）を取り入れて積極的に過ごして頂いている。訪問サービスも自立に向けた支援を心掛けており、なるべく長く府中町で過ごせるようなサービスを展開している。
事業所名	マルチケア安芸府中	管理者	山下 賢二		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	人	2人	1人	2人	10人	人	18人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	ボランティア活動を取り入れるよう積極的に関わりを深めている。	公民館の活動者や地域のボランティア等が演奏会や生け花等を行っていただき、中学生の職場体験実習を受入れするなどし、地域の資源を活用している。	引き続き連携を密にするとともに、新たな地域資源の発掘もお願いしたい。	福祉避難所の協力協定をきっかけにさらに地域の方に知っていただくとともにつばきコミュニティーを有効活用してもらおう。
B. 事業所のしつらえ・環境	施設内の環境整備を行う。季節感や役割を持っていただき花壇なども取り入れていく。	プランターで花を育てたり、生け花ボランティアの方が季節に合った花を飾っていただくなど効果的に行うことができている。	リビングの掲示物も毎月更新され、またご利用者様の作られたものが掲示しており良いと思う。	雰囲気を変えるために掲示物を考えたり、地域資源を活用した展示や掲示を行い、訪れてみたい施設となるよう検討する。
C. 事業所と地域のかかわり	いきいきサロンの方たちにコミュニティを使用していただく。学校からの職場体験実習の受入れを行っていく。	毎月定期的にコミュニティールームの活用をしていただいている。中学校の職場体験実習も初めてであったが、中学生が施設に訪問し活動されることで、ご利用者様の活力にもなっていた。	コロナが収束し、地域とのかかわりも活発になっている。今後も継続してもらいたい。	地域根差した活動ができるよう町内会入会もひきつづきすすめていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域の行事に参加していく。引き続き挨拶運動を行い、地域資源を活用していく。	東小学校の運動会や公民館に併設された歴史民俗資料館を見学したり、小学校の土手にある桜のお花見等で、保育園児と一緒に食事をとったりし地域資源の活用ができている。	地域に出ていくためには、事業所を知ってもらうことが必要と思うので、その方策も検討してもらいたい。	公民館や資料館を訪問したり、小学校の行事に参加したりし、地域で包括的に介護を行っていきけるよう働きかける。
E. 運営推進会議を活かした取組み	報告を継続して行い、事業所の課題を見直し改善を行っていく。地域とのかかわりを報告していく。	パワーポイントや写真等で運営推進会議のメンバーに報告し、意見を伺ったりすることで、事業所の運営状況を報告することができた。	運営推進会議のメンバーのすそ野を広げることにより様々なご意見がいただけよう働きかける	運営推進会議のメンバーを前年より増やせるように働きかける。
F. 事業所の防災・災害対策	地域の方と訓練を行えるように計画を立てる。	3月に当事業所が府中町の指定する福祉避難所として協力協定を締結することができた。これから地域との連携や防災訓練等を行っていききたいと考えている。	協定を結んだことは評価できる。防災の拠点として訓練と地域連携をお願いしたい。	福祉避難所として地域との防災訓練等を実施する。